



## ☆令和3年度の pickup

今号では、2021年7月号から2022年4月号の「今月の pickup」をまとめて掲載し、令和3年度に収集した研修・選定用資料（図書）1,225冊の中から各担当が pickup した資料（図書）をあらためて紹介させていただきます。

令和3年度に刊行されたこれらの児童図書は、当館児童図書研究室で一望できます。是非ご活用ください（最終頁に詳細を掲載しています）。



児童図書研究室

## 2021年7月の pickup

『ウッソース やきそば』 ささき みお作・絵 ひさかたチャイルド

主人公は、焼きそば店 店長 その名も「ウッソースやきそば」。

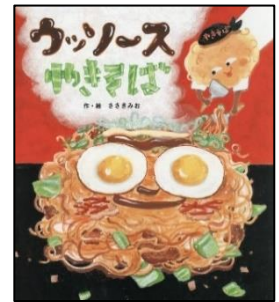
ある日、表の看板にある おすすめメニュー「ウッソースやきそば」を注文したお客さん。店長の腕自慢・材料自慢を聞かされ、食欲はMAX！

ただ、この「偽」店長、実は「うそ」が大好き。

自慢話は「うそ」「ほんと」どっち？

お客さんは、おいしい「ソースやきそば」を食べることができる？

ストーリーを追うだけでも楽しいが、冒頭の「おすすめメニュー」など、絵をじっくり見ると新たな発見がある、二度三度おいしい絵本。

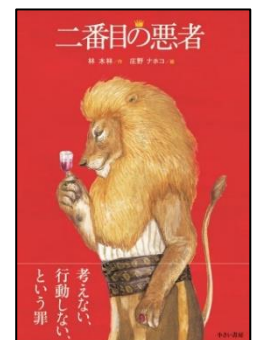


## 2021年8月の pickup

『二番目の悪者』 林木林//作 庄野ナホコ//絵 小さい書房 (2014年に出版された図書の大型版)

とても美しい黄金のたてがみを持つ大金持ちのライオンがいた。彼は、その美しさと富に誇りを持ち、さらに地位と権力を求めた。一方で、街外れには銀のたてがみを持った心優しく穏やかなライオンがいた。その国の次の王さまを国民が決めることになったとき、黄金のたてがみのライオンは銀のたてがみのライオンに負けないよう、相手についての悪い噂を流した。最初は信じなかった者たちも、繰り返され、尾ひれがついて大きくなった噂を信じるようになり、黄金のたてがみを持ったライオンは国王となる。そうして陰惨な時代が始まった…。

表題紙に掲げられた、「これが全て作り話だと言い切れるだろうかー」という言葉のとおり、寓話というには生々しすぎる物語で、噂が広まり、嘘が信じられ、真実が踏みにじられる様を描いている。一番目の悪者はだれでもわかる、でも、二番目の悪者は？タイトルが問いとなって読後に重くのしかかってくる作品である。



## 2021年9月のpickup

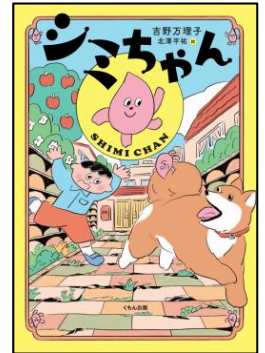
『シミちゃん(くもんの児童文学)』 吉野万理子//作 北澤平祐//絵 くもん出版

最近、世界中で、同じ病気が流行っている。出かけるときには、マスクを着けなくてはならないようになった。

ある日、マーくんのお母さんがマスクを着けようとしたそのとき、ほっぺたからつるんとすべり落ちたのは、なんとシミ！見てみると、目と口まで浮かびあがっている。シミちゃんは、どうやら、マスクに隠されるのが嫌らしい。

小さい頃からお母さんのシミが好きだったマーくんは、必死にシミちゃんを追いかけるけれど、隠れたり、逃げたりのだタバタ騒動。シミちゃんを無事にお母さんのほっぺたに帰すことはできるのか？

コロナ禍の今を思わせる舞台で、マーくん、シミちゃん、お母さんのそれぞれの思いに共感できる、ユーモアたっぷりの幼年文学。



## 2021年10月のpickup ※[]内は原書の言語

『キリンのなやみごと[英]』 ジョリ・ジョン//さく レイン・スミス//え 岡野佳//やく 化学同人

キリンのエドワードは、自分の「くび」が嫌い。周りの動物から「くび」を、ジロジロ見られている気がする。おしゃれをしても何をしても、やっぱり皆の「くび」の方がすてきに見える気がしている。

そうして、気落ちしたエドワードが「くび」をおろした岩、実はカメのサイラス。「くび」に悩みを持つもの同士で仲良くなった二匹。どのようにして自信をつけていくのかは読んでみてのお楽しみ。

ページをまたいだ表現やしなやかさを使い、「くび」の長さをうまく見せている。また、サイラスのちょっと「ずるい」感じなど、クスッとするポイントをたくさん設けているので、説教臭さを感じさせない。



## 2021年11月のpickup

『セカイを科学せよ!』 安田夏菜//著 講談社

父が日本人、母がロシア人の中学2年生、藤堂ミハイルの口から自然に出るのは日本語、夢を見るのも日本語だ。しかし、母に似た容姿のせいで、まわりからは「ガイジン」、「オーバー」扱いされ、いつしか自分を目立たせないように努める「こじらせ系ハーフ」になってしまった。その彼のクラスに黒人の父を持つ山口葉奈が転校してくるが、彼女は容姿だけでなく、部類の虫好きという趣味でさっそくまわりから注目を浴び、所属した科学部でも騒動を起こして、周りから孤立してしまう。しかし、同じ科学部のミハイルは、臆することなく自分の思い、考えを伝える葉奈の姿に心動かされ、科学部の面々と共に騒動の解決に乗り出す。

ミックスルーツを持つ主人公たちの心情を細やかに描きながら、違いを受容することの難しさとそれに向かい合う気持ちの大切さを伝えてくれる作品である。



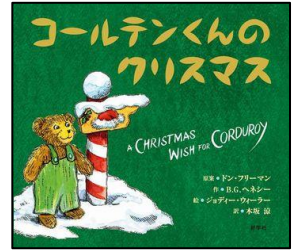
## 2021年12月のpickup ※[]内は原書の言語

『コールテンくんのクリスマス[英]』 ドン・フリーマン//原案 B.G.ヘネシー//作 ショディー・ウィーラー//絵 木坂涼//訳 好学社

あるデパートのおもちゃ売り場の棚にいた、くまのぬいぐるみ。クリスマスが近づいてきたが、プレゼントにはなかなか選んでもらえない。そこでくまは、自分が誰のプレゼントになれるのか、サンタクロースに会いに行き確かめることにした。

くまは、本物のサンタクロースに会うことができるのか？そして、誰かのプレゼントになることができるのか？

物語の最後は、『くまのコールテンくん』(偕成社刊)の冒頭へと続いていく。くまのぬいぐるみが、「コールテンくん」になるまでを描いた絵本。



## 2022年1月のpickup ※[]内は原書の言語

『いってきます[英]』 エミール・シェール//作 チン・レン//絵 野坂悦子//訳 化学同人

主人公は、スキップ。働くママとは、ゆっくり話す機会がない。だから毎日「メモ」で、お互いの気持ちを伝え合っている。

そんな二人が抱える今一番の問題は、「サマーキャンプ」。行きたくないスキップと行って欲しいママ。スキップが「メモ」でママに気持ちをぶつける中、キャンプ予定日の1週間前に遊びに来た「ばあば」のお話と1枚の写真によって、問題は解決する。

二人が毎日残す「メモ」、アクセントとしてカレンダー。これだけで話が進んでいく。そして、これだけだからこそ、二人の絆を強く感じることができる。



## 2021年2月のpickup ※[]内は原書の言語

『おひさまがおちないように[中国]』 チュチョンリャン//絵 クオツェンユアン//文 青山大樹//訳 廣部尚子//訳 ライチブックス

夜が明けて、おひさまがのぼってくると、山の上では、おひさまのひかりを浴びてポカポカになった動物たちが大喜び。ところが、お昼が過ぎて、おひさまが落ちていくと、あわてた動物たちはあの手この手でおひさまを支えようとする。

ユーモラスな話と愛らしい動物の表情にも惹かれるが、原画を高精細に印刷した紙面も見ごたえがある。塗り重ねられて立体感を持った色、毛先の一本一本までわかるような画家の筆跡も再現され、単色で描かれた背景でさえ存在感があり、まるで画集のような「絵の本」である。



## 2022年3月のpickup ※[]内は原書の言語

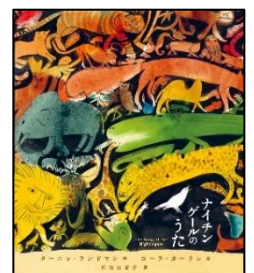
『ナイチンゲールのうた[英]』 ターニャ・ランドマン//作 ローラ・カーリン//絵 広松由希子//訳 BL出版

むかし、地球は、色にあふれていた。金色のおひさま、深いみどりの海、にじいろの花や木。しかし、どうぶつたちは色がなく、みんなぼんやりとくすんでいる。

「なんとかしないと」と立ち上がったのは、「えかきさん」。えかきさんは、すべてのどうぶつをよび集め、絵の具箱をあけ、次から次へと彩っていった。

仕事が終わりに、絵の具もなくなってしまうころにやってきたのは、一羽のナイチンゲール。えかきさんは、ナイチンゲールをどのように彩ったのか？

表紙をめくって最後のページにいたるまで、色彩豊かに描かれた動物たちが美しい絵本。



## 2022年4月のpickup

『がっこう、さらばじゃ（詩集絵本みつけたよ!じぶんのきもち）』 日本作文の会 // 編

武田 美穂 // 絵 北原 明日香 // 絵 佐藤 真紀子 // 絵 田中 六大 // 絵 吉田 尚令 // 絵 ほるぷ出版

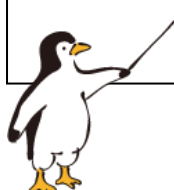
「がっこう、さらばじゃ」、てっきり卒業の詩かと頁を繰ると、なんと一年生。  
実はこの詩、夏休みに入る前の喜びを表現したもの。「南国気分」「言いづらい」「ひみつのマンガ」「自由」・・・、いろいろな学年のいろいろな場面での小学生の気持ちが伝わる詩がいっぱい！誰が読んでも「この気持ちわかる」という一編に、出会うことができってしまう詩集。



そして、この詩集のもうひとつの魅力が「絵」。武田美穂・田中六大など数多くの絵本を手掛けている作家が、それぞれのタッチで各詩に絵をつけている。それにより、詩の世界がよりストレートに入ってくる。

### 児童室からのお知らせ

- 児童室展示 4月15日（金）～5月18日（水） 「ほんがいっぱいたのしさいっぱい」展
- おはなし会 5月20日（金）午前11時～ 県立図書館 1階 談話室 ※第3金曜日に開催  
※県が示す注意以下のステージでのみ開催します。



### ✿研修選定用資料(図書)について

#### ✿研修・選定用資料(図書)とは？

家庭や地域・学校そして図書館で、子どもたちにどんな絵本や読み物を届けていくのか、手に取って選んでいただくための児童書新刊コレクションです。子どもの本を選ぶ際や、子どもの本に関する講座・研修の場でご利用いただけます。

#### ✿皆様のお声にお応えして

「最近の子どもの本はどんな本があるの?」「新刊本の内容を知りたいけれど1冊ずつ探すのは大変。」そんな皆様のお声にお応えします。毎年約5千冊の児童書が出版されており、その中から本を選んでいくのは大変な仕事です。そこで当館では、「子どもの読書活動に関わる人々への支援事業」として、子どもの本の新刊のうち絵本・読み物を研修・選定用資料(図書)として提供し、本選びのお手伝いをしたいと考えています。

#### ✿研修・選定用資料(図書)を利用するには？

研修・選定用資料(図書)は当館児童研究室で閲覧することができます。カウンターでお申込みください。また、研修会等での出張展示にも対応できます。事前に児童室までご相談ください。

子どもの本に関することにつきましては、下記までお気軽にお問合せください。

(問い合わせ先).....

滋賀県立図書館 児童室 TEL 077-548-9691

開館時間 水～金 午前10時～午後6時

土・日・祝 午前10時～午後5時

休館日 毎週月・火 ※祝(休)日は開館し、翌水曜日を休館

.....